

平成 2 1 年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号	27
------	----

自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付けさせる。 (2) ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にさせる。 (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒を育てる。
2 評価する領域・分野	環境・管理
3 今年度の具体的かつ明確な重点目標	明るく清潔な学校生活を樹立していくために、全校生徒一人ひとりが問題意識を持ち責任ある行動がとれるよう推進する。 公共物を大切にすることを育成するとともに安全管理を徹底する。
4 目標の達成に必要な具体的な取組	
(1) 生徒一人ひとりに「汚さない」という強い意識を持たせ、日常の清掃と分別回収の徹底を図り、校内美化とリサイクル活動の推進に努める。 (2) 防災訓練を体験する中で、自衛消防組織等の危機体制の機能を確認するとともに命の大切さを自覚させる。また、消防署等と連携を密にして訓練・研修の充実を図る。 (3) 公共物を大切にすることを育成するとともに環境整備の徹底を図る。	
5 取組状況・実践内容等	6 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 早朝と放課後の清掃活動及び各学期末の大掃除を行った。また「環境委員会新聞」を発行し、環境美化に対する意識向上に努めた。 ・ 一学期の終わりと二学期の終わりに防災避難訓練を行った。特に2回目の訓練では、消火器・避難袋・煙体験と実技を取り入れて実施した。また、7月に救急法講習会を行い、災害時への迅速な対応を学んだ。 ・ 事務部と協力し、環境整備の向上に取り組んだ。 	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>
7 成果・課題	<p>環境美化への意識が高まり、校内外のゴミが減少した。放課後の普通掃除も定着し、職員・生徒が協力して環境管理を行うことができた。防災訓練を繰り返すことにより、避難経路がしっかり確認できた。救急法講習会では、AEDの扱い方を多くの先生方に知っていただいた。老朽化した教室用掃除ロッカーを更新することができた。昨年度と比較するとゴミは減少したものの「ポイ捨て」をする者は少なくない。環境に対するさらなる意識改革が必要である。防災訓練において、マスク完全着用としインフルエンザ対策を行ったが、徹底ができず問題が残った。さらなる方策を変えていかなければならない。校内にある所在不明物品の整理整頓が必要である。</p>
8 来年度に向けての改善方策案	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境委員会の活動を活発にし、意識の高揚を図る。また、全校生徒の意識高揚に繋がるような新しい取り組みが必要であると考えている。(例：環境美化週間の実施など) ・ 防災訓練の内容を精選し、全職員・生徒が災害時に迅速に行動できるよう「学校安全マニュアル」を定着させ、防災に対する意識を更に高められるような様々な働きかけをしていきたい。 ・ 定期的に校内の巡視・検査を行い、事務部と連携を密にし環境管理を徹底したい。 	

学校関係者評価

実施年月日：平成 2 2 年 1 月 2 9 日

【意見・要望・評価等】

・
・